

## 競技注意事項

### 1. 競技規則について

本大会は、2018 年度日本陸上競技連盟規則、ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。不正スタートは1回目にしたものを失格とする。

### 2. 札幌厚別公園競技場使用上の注意

- 1) 当該種目競技者以外は、競技エリアへの立ち入りを禁止する。
- 2) 競技開始後はフィールド内での練習を禁止する。
- 3) ウォーミングアップは補助競技場にて行う。補助競技場の使用規則については、後に記載の通りとする。
- 4) 投擲種目の練習は係の指示に従うこと。また、空いた穴は修復すること。

### 3. ナンバーカードについて

ナンバーカードは、北海道大学101～199、1001～1099、東北大学201～299、2001～2099、東京大学301～399、3001～3099、名古屋大学401～499、4001～4099、京都大学501～599、5001～5099、大阪大学601～699、6001～6099、九州大学701～799、7001～7099、以上のように固定制とし、男子は白地に黒文字で、女子は白地に朱文字で、各大学で大会前に準備する。ただし、3000m、5000m、5000mW については専用のナンバーカードを着用する。このゼッケンは主管校が準備する。

### 4. 補助競技場の使用について

- 1) 補助競技場への出入口は100mスタート後方部分のみとし、その他の出入口は使用しない。
- 2) 棒高跳、走高跳、走幅跳、投擲ピットおよびサークルへの立ち入りは可能だが、安全確保のため、砂場の使用およびピットでの投擲物を用いた練習行為は禁止する。投擲物を用いないピットおよびサークルでの練習は可能とする。
- 3) 補助競技場及び競技場周辺において投擲物を用いた練習行為を禁止する。
- 4) リレーの練習などで使用したマークは、各団体が責任を持って処分すること。
- 5) 補助競技場の使用時間は大会の競技終了時間までとする。
- 6) 秩序のある練習をし、安全に留意して使用すること。

### 5. 招集について

- 1) 招集時間は以下の通りである。

	招集開始	招集完了
トラック競技	競技開始 30 分前	競技開始 20 分前
フィールド競技(棒高跳びを除く)	競技開始 40 分前	競技開始 30 分前
棒高跳	競技開始 70 分前	競技開始 60 分前

- 2) 招集場所は第 1 ゲート側の外に設ける。招集時間内に行くこと。
- 3) 競技者が他の種目に出場中の場合のみ、代理人による点呼を認める。
- 4) 同一時間に複数種目に出場する場合、「複数種目出場届」を競技者係に提出すること。
- 5) 招集完了時間に遅れると、当該種目を棄権したものとみなすので、注意すること。
- 6) リレー種目は、オーダー用紙（本部受付に用意）に走順・ナンバー・名前を記入し、招集完了の 1 時間前までに競技者係に提出すること。

## 6. 棄権について

### 【OP 種目】

あらかじめ棄権が分かっている選手については、「OP 種目棄権者一覧」を作成し、当日の 8:30 までに大会本部へ提出すること。大会当日に棄権が分かった場合は、招集所（競技者係まで）「OP 種目棄権者一覧」をまとめて提出すること。（各種目 1 次招集開始時刻まで）

### 【対校種目】

○差し替え（正選手と補欠の入れ替え）

・ 1 日目に行う種目（男決勝 1500m、男決勝 5000mW、男決勝 4×100mR、男決勝三段跳）については、前日（7/27）の正午までとする。各校主務が自大学の分をまとめ、自校以外の 6 大学主務にメールをすること。

・ 2 日目に行う種目については、代表者会議にて行う。

○棄権

・ 1 日目と 2 日目ともに、招集開始 1 時間前までに、「対校種目棄権届」を記入し、競技者係（招集所）に提出すること。

## 7. 競技の抽選・番組編成について

- 1) トラック競技予選のレーン順、フィールド競技の試技順はプログラム記載の順による。
- 2) 準決勝以降の組み合わせ、およびレーン順は主催者が抽選する。
- 3) 代表者会議にて棄権者多数により、予選ラウンドが行われない競技については、選手の最高記録を考慮して決勝ラウンドの番組編成を行う。

## 8. 用器具について

競技に使用する用器具（ポールを除く）は、すべて主催者側が用意したものを使わなければ

ならない。ただし、投擲物は個人所有のものを使用することができる（投擲物の検査方法については後日大会主催者側から各大学に周知するのでそれに従うこと）。この投擲物は、他の競技者も使用できる。（規則第187条）

#### 9. トラック競技について

すべて写真判定とするが、万一、機器が故障し、復旧しない場合は、手動計時に切り替えて継続する。

#### 10. フィールド競技について

1) フィールド競技における競技場内での練習は原則として2回とし、すべて競技役員の指示に従う。

2) フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従うこと。

3) 跳躍競技でのバーの上げ方は下記の通りとするが、状況により変更することもあり得る。特に棒高跳はバー止の付け替えの関係で変更することもあり得る。

OP 男子棒高跳	練習 m	試技
対校男子走高跳	練習 m	試技
対校男子棒高跳	練習 m	試技
対校女子走高跳	練習 m	試技

4) 走幅跳は、2つのピットに分かれて行う場合がある。

5) 三段跳では、男子は12m板を使用する。なお、この条件については状況により変更する場合もある。

6) 選手の競技力をみて、審判の判断で変更する場合は必ず総務に相談の上、全体の競技進行を考慮して変更することとする。

#### 11. 表彰について

対校の部の各種目第3位までの入賞者を表彰するので、該当者は競技終了後、アナウンスが掛かり次第、迅速に表彰席前に集合すること。

#### 12. 抗議について

1) 競技進行中に起きた競技者の行為、または競技成績に関する抗議は、その競技者あるいはチームの代表者により結果が正式発表(アナウンス)されてから30分以内(予選、準決は15分以内)に、総務員を通して口頭で審判長になされなければならない。時間以内に申し出がなければ、何ら問題はなかったものとみなされる。

2) 抗議に対して審判長は速やかに裁定する。その裁定を不服とし、さらに抗議する場合は抗議申立書と預託金10,000円を添えて上訴する。この預託金は抗議が受け入れられなかった場合は没収される。

3) この間の事務処理は総務員が行い、抗議者は大会本部で待機する。

### 13. その他

1) 開会式・閉会式は特別な理由（招集等）がない限り、必ず出席すること。その際に部旗がある大学は必ず持参すること。

2) 競技者の衣類の管理は、すべて各自で行うこと。※役員・補助員による運搬は行わない。

3) 盗難・紛失について、主催者で受領した物品等については一時保管するが、その他のものについては一切責任を負わない。なお、主催者で受領した物品等は大会本部で管理する。

4) 応急処置について競技中の事故等による身体の故障の場合、医務員が応急処置を行うが、その後の治療等は本人負担とする（競技者保険の適用）。また、事故の結果について本連盟は一切責任を負わない。医務室は、大会本部に設置してある。

5) 集団応援は、あらかじめ決められた場所を使用すること

6) 大会期間中に出たゴミは、必ず各自で持ち帰ること。

7) 競技者（選手）がカメラで撮影されることによって嫌悪や不安に感じられる場所からの撮影は禁止する。また、撮影している場所によっては不審と判断された場合、競技役員が注意・指導、撮影内容の確認をする場合がある。

8) 不審者等がある場合、大会本部まで問い合わせること。

9) その他、不明な点は大会本部に問い合わせること。